

神楽 DD フリーボディのメンテナンスについて

○メンテナンスの必要性

フリーボディラチェット部に塗布してあるグリスは使用時間に応じ劣化・消耗します。神楽の静粛性を保つためにも定期的なメンテナンスをお願い致します。メンテナンスはスプロケットを外し、フリーボディを外すことで行えます。作業方法は下記に記載されていますのでご確認ください。

○スプロケットの空転が起きる理由

神楽DDのフリーボディには回転時の静粛性を高める為、若干粘性の高いグリスをラチェット部へ塗布しております。使用する環境/状況/時間によってグリスの粘性が変化し、フリーボディ内にある金属部品（爪）の動きが悪くなることで、空転が起る原因になります。

○注意

塗布されたグリスを清掃し、フリーハブグリス（シマノ品番：Y3B980000）



粘性の低すぎるグリスを使用すると静粛性の低下、メンテナンス頻度の増加にも繋がりますのでご理解の上塗布をお願い致します。

○作業方法

<フリーボディを外す方法>

用意する工具：17 ミリスパナか、モンキーレンチ/再塗付用グリス（SHIMANO フリーハブ用グリスか同等品）

Step-01：カセットを取り外した状態



Step-02 : 17 ミリスパナもしくはモンキーレンチでサイズを合わせ、ロックナットを外す（緩める方向：フリーボディに正対して、反時計回り/左回り）



Step-03 : ロックナットを取り外す



Step-04 : フリーボディをシャフトから抜く（手で抜けます）



Step-05 : シャフトから抜いた状態



フリー内側の本体と爪、シャフト側の古いグリスと汚れをウェスなどでふき取り、新しいグリスを塗布し、再組立ての際は、Step-05 から逆の手順で組付けします。

再組立て時の注意

フリーボディーを取り外すと、本来ラチェット機構をつかさどる爪（赤矢印部）がばねにより飛び出ています。うまくラチェット部に嵌まればいいのですが、これまでも時々元に戻せないという相談がありました。

その際、扇糸や釣り糸のような細くて丈夫な紐で爪を内側の収納部に納まるように仮止めし、ラチェット部にのぞみ込んだところで取り外し、フリーボディーを押し込むとうまくはまります。

